

# 自治を耕す社会教育

—社会教育の裾野の広がり和社会教育人材が果たすべき役割—

牧野 篤

(東京大学大学院教育学研究科)

# 1. 何が問われているのか

Well-being (ウェル・ビーイング) :

よりよく生きる? (positive)

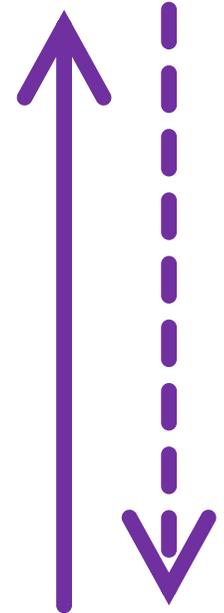
よりよくいる? (存在)

よく在る? (状態)

そう在るようにして在る (常態)

そう在るようにして在らしめられる (passive)  
そう在るように受け入れあう

「ふるさと」をどうつくるのか



**コロナ禍で起こった「恩送り」**

**地域の高齢者を心配して布マスクを縫って届けた中学生たち**

**校区の子どもたちのために布マスクを縫って配付した高齢者住民たち**

**⇐互いに相手を慮って、うれしかった！！**

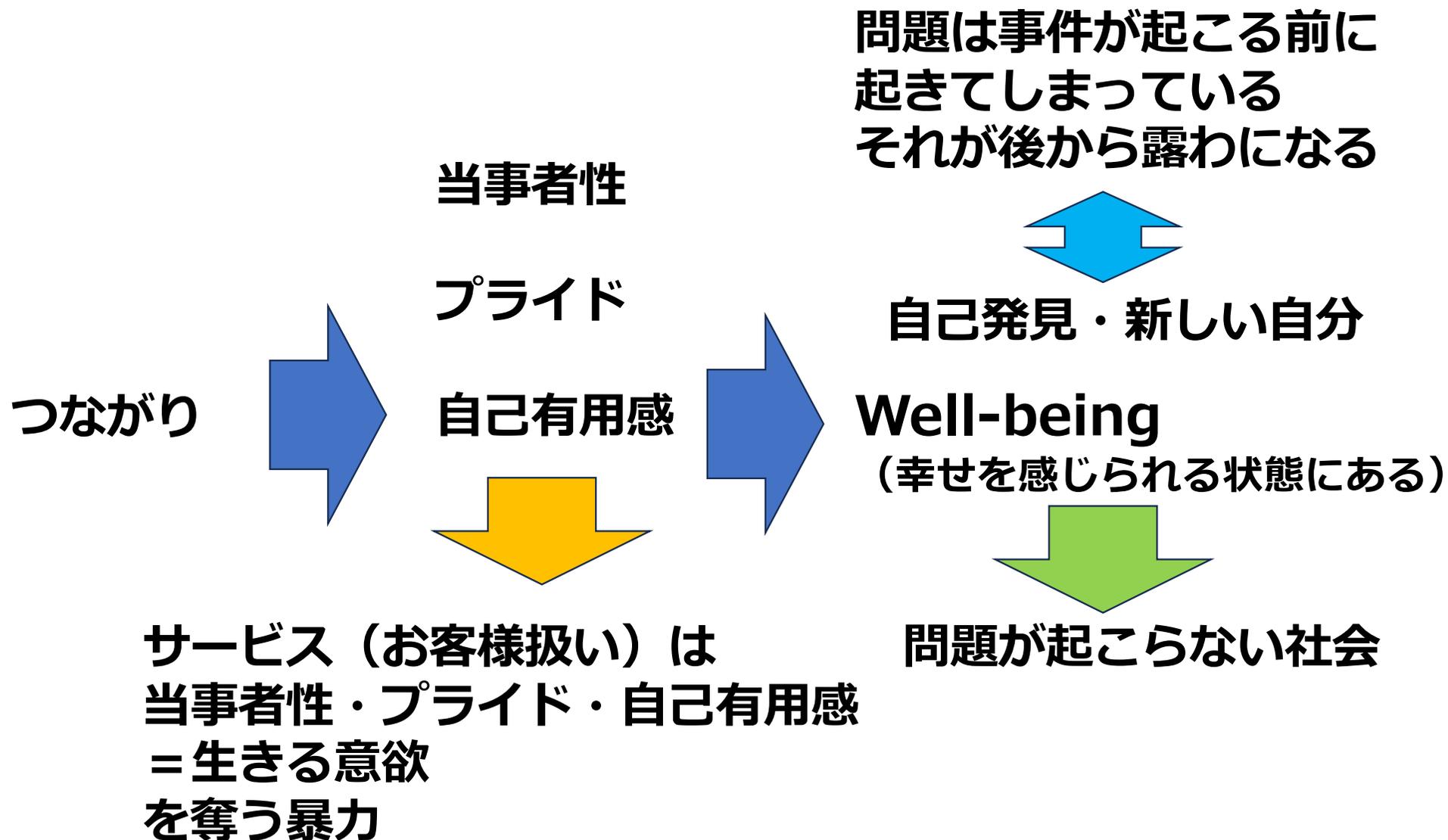
「恩送り」：自分への見返りを考えずに、相手にとって「よきこと」をする  
↳基本的に、次の世代を育むこと＝社会をつなげること

私たちが社会をつくっていることの基盤

Compassion

⇒Compassionate Community (苦しみ・悲しみを分かちあう社会)

相手への想像力、「よきこと」に気づく、実践する



## 2. 社会教育の概念を問う

## **第4期教育振興基本計画（2023年6月閣議決定）**

### **基本コンセプト：**

**「持続可能な社会の創り手の育成」**

**「日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上」**

**「我が国の将来を展望したとき、  
教育こそが社会をけん引する駆動力の中核を担う営みであり、  
一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展に向けて  
極めて重要な役割を有している。」**

**社会教育は、  
本計画において、  
改めて地域コミュニティを基盤とする社会の土台である  
人と人との「かかわり」や「つながり」の土壌を耕しておく  
という役割が強調され、  
それが社会の持続可能性およびウェルビーイングと  
結びつけられている**

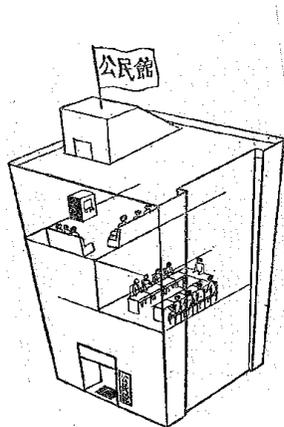
**社会教育が土壌を耕すことで、  
この社会が豊かな基盤をつくることになり、  
それが防災や福祉、産業振興、文化交流など、  
いわば首長部局の一般行政が有効に機能することにもつながることが指摘**

**少し踏み込んだいい方をすれば、  
一般行政の社会教育化とでも呼ぶべき方向性が示されている**

**「学び」による住民自治を  
社会により深く実装することが求められる時代となったとの認識**

### 3. 地域をつくる公民館・社会教育

民主的社会教育機関です

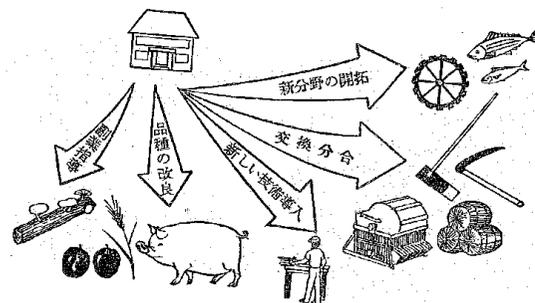


村の茶の間です

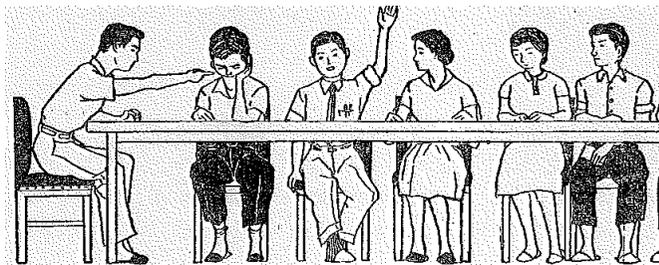
親睦交友を深める施設です



産業振興の原動力です



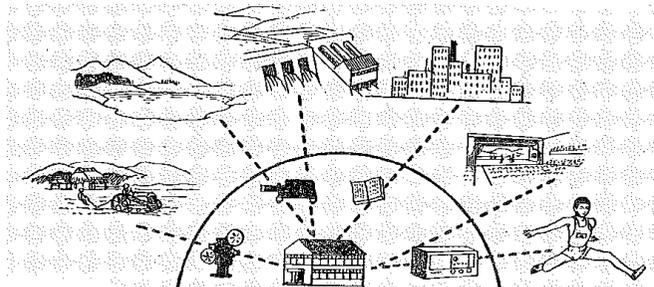
民主主義の訓練場です



郷土振興の機関です



文化交流の場です



小和田武紀『公民館図説』(1954年)より：文部科学省提供資料

**社会教育に「目的」はない**

**社会教育がしっかりしていると、「目的」が生まれる**

**一般行政は、社会教育の基盤の上で、有効に機能する**

**敢えていえば、**

**社会教育は「社会」を永続させるための営み**

## 4. 転換点の社会

**コミュニティと「学び」が焦点に**

**←日本社会は明治以降、国の枠組みが動揺すると  
コミュニティが政策的ターゲットになる**

**総務省：地域運営組織・地域生活総合支援サービス**

**厚生労働省：地域包括ケアシステム・地域共生社会づくり・孤独孤立防止**

**国土交通省：国土強靱化・防災訓練・孤独孤立防止**

**まち・ひと・しごと創生会議：小さな拠点**

**経済産業省：未来の教室、半径50センチ革命、STEAMライブラリー**

**農林水産省：農村地域づくり事業体**

**文部科学省：コミュニティ・スクール、地域学校協働活動、GIGAスクール**

**全国社会福祉協議会：福祉教育から社会教育へ**

**政府：人生100年時代構想会議**

**主要テーマ：学び直し・リカレント教育**

**世界的課題・社会の構造的変化**

**根源的危機の時代**

**これを人々の日常生活で引き受けざるを得ない  
⇒地域社会でどう受け止めるのか**

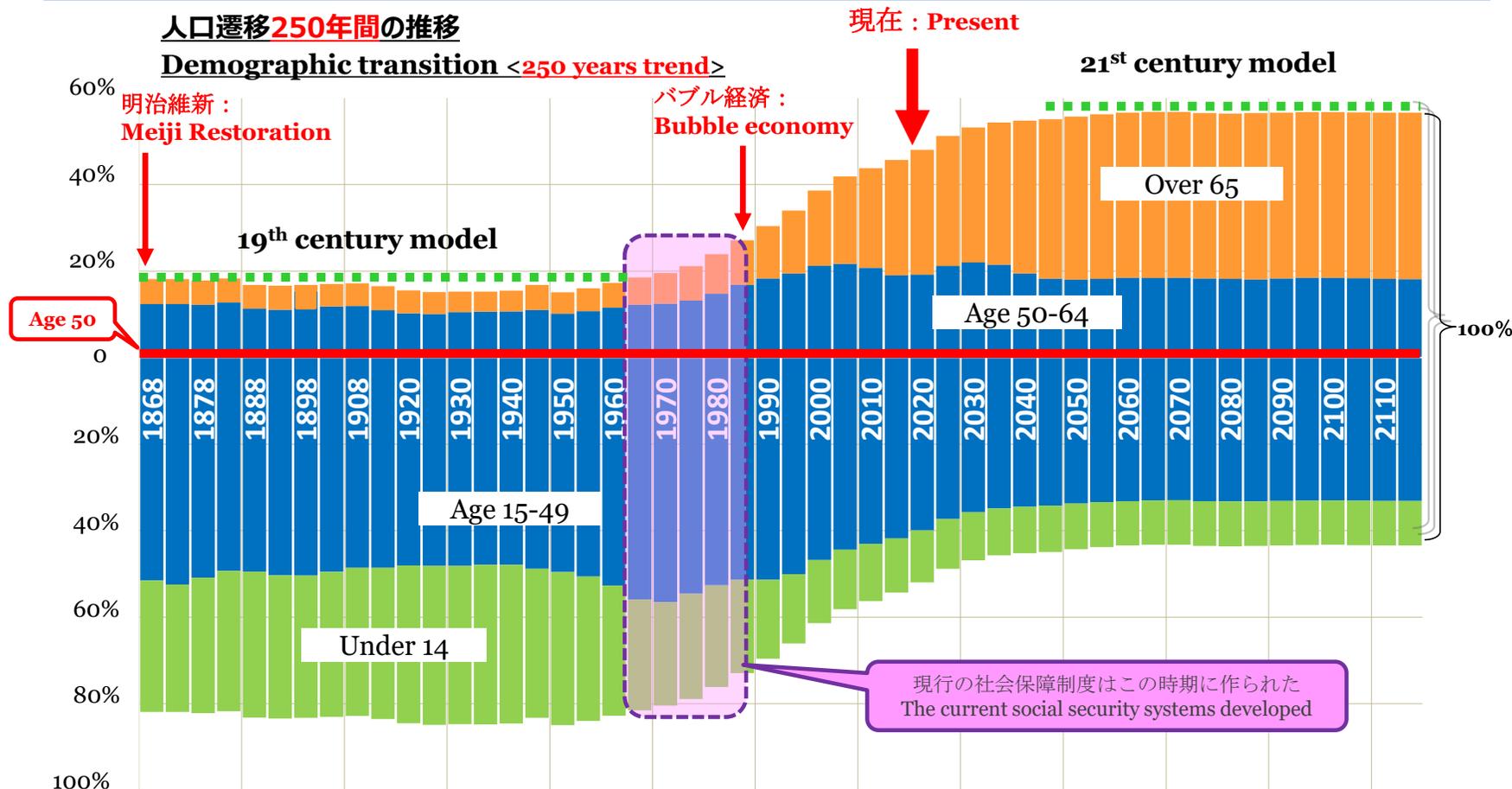
**コミュニティと自立が課題化**

どれも〈学び〉を基盤にしないと機能しない  
〈学び〉が社会の基盤となる

## 5. 人生100年時代の到来

# 人口構造の遷移 Japan's demographic structure & transition

- There has been a **major shift in the population structure** from the 19<sup>th</sup> to the 21<sup>st</sup> century.
- It will be **impossible** to maintain the **social security systems** established in 1960-80s.



Source: Sensus, Okazaki estimate, National Institute of Population and Social Security Research 2017 estimate

© T Hasegawa RIFH. Japan

UN Estimate2017

**少子高齢人口減少社会  
から  
人生100年社会へ**

**高齢者への対応から  
子どもたちを主役に  
持続可能な社会をつくる**

## 6. 社会教育主事(社会教育士)の位置づけを考える

## 社会教育主事・社会教育士の役割の明確化と配置促進

### 社会教育主事

#### 「地域全体の学びのオーガナイザー」

首長部局等が担う福祉や防災等の多様な分野と社会教育(行政)をつなぐこと等により、社会教育の行政及び実践の取組全体をけん引し、**地域全体の社会教育の振興の中核**を担う

- 社会教育の裾野の拡大を踏まえると、**地域における社会教育全体を俯瞰し、その調整を職務として担う社会教育主事の役割の重要性が高まっている**
  - 地域の社会教育人材がそれぞれの専門性と相互のつながりを活かして活躍できるよう、社会教育行政の専門職である**社会教育主事が地域の社会教育人材ネットワークを構築・活性化する役割を担うことが重要**に
- ⇒地域活動における社会教育士の活躍機会の拡大により、**社会教育主事の配置が、地域における社会教育やその関連分野の実践をつなげ、各取組の相乗効果的な充実を図る。**

### 社会教育士

#### 「専門性を様々な場に活かすオーガナイザー」

現場レベルの活動において、**各々の専門性と社会教育の知見を活かし**ながら、それぞれの分野の活動を活性化させたり、その意義を深めたりする

## 社会教育人材の養成及び活躍促進の在り方について（中間的まとめ）【概要】

（令和5年8月 中央教育審議会 生涯学習分科会 社会教育人材部会）

**社会教育主事講習：社会教育主事の任用に耐える基本的な資質の保障**

**社会教育主事：社会教育主事講習(養成課程)を経て、  
社会教育主事に発令された行政専門職の資格**

**社会教育士：社会教育主事講習(養成課程)を修了し、  
社会教育主事の任用に耐える資質を獲得したが、  
社会教育主事としての発令を受けていない者、  
または主事の発令を受け、主事としての職務に就いていたが、  
退職その他で主事ではなくなった者の称号**

**社会教育主事と社会教育士で養成のプロセスや課程が異なるわけではない**

**社会教育士は公的称号として、  
社会教育主事講習(養成課程)を修了していることを示す  
社会教育主事は、行政専門職資格として、発令され、その職務にある限りの職位**

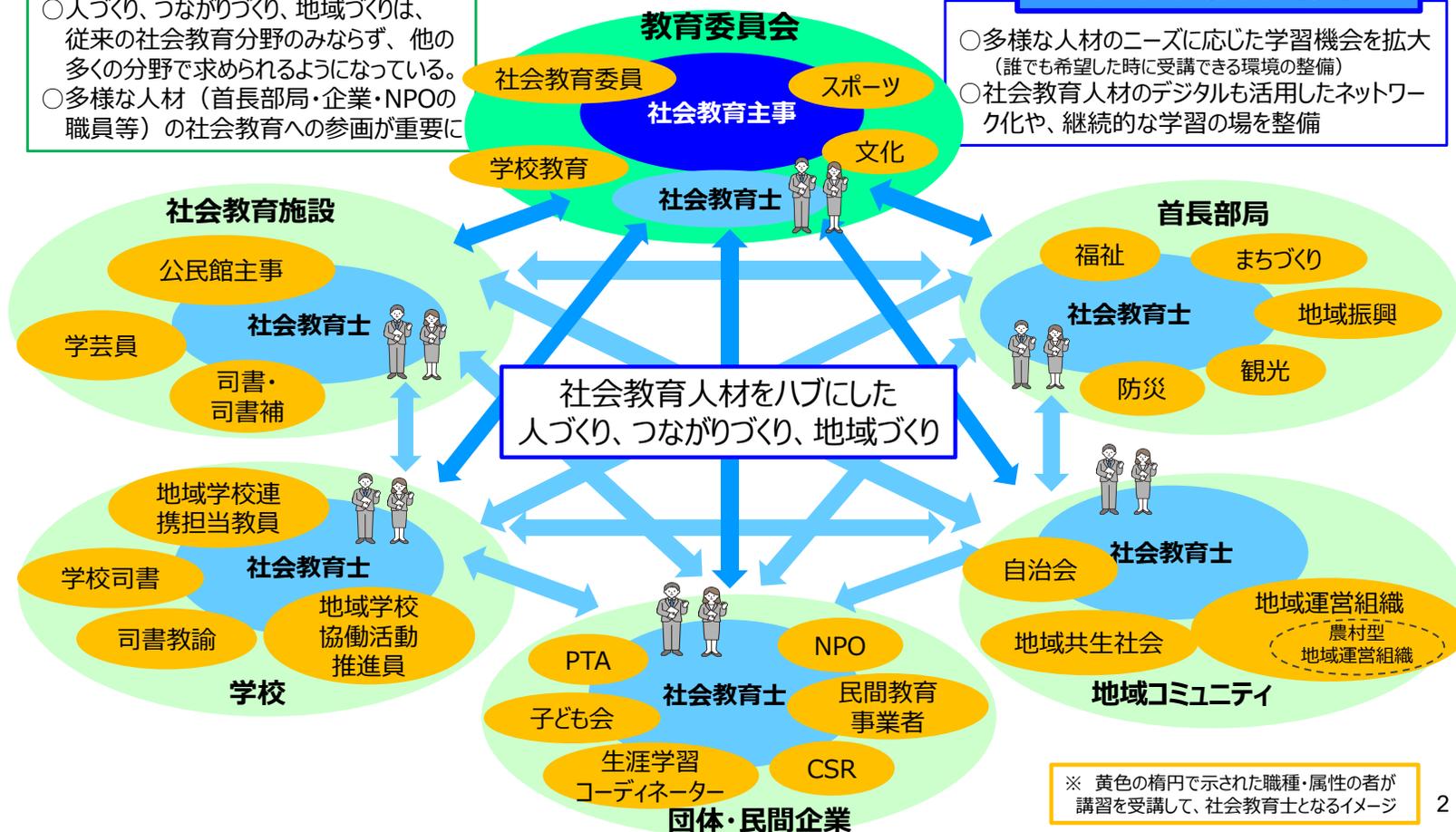
# 社会教育の裾野の広がり、社会教育人材が果たすべき役割

## 社会教育の裾野の広がり

- 人づくり、つながりづくり、地域づくりは、従来の社会教育分野のみならず、他の多くの分野で求められるようになってきている。
- 多様な人材（首長部局・企業・NPOの職員等）の社会教育への参画が重要に

## 社会教育人材がハブとしての役割を果たすために

- 多様な人材のニーズに応じた学習機会を拡大（誰でも希望した時に受講できる環境の整備）
- 社会教育人材のデジタルも活用したネットワーク化や、継続的な学習の場を整備



**社会教育主事**：様々な行政領域と社会教育(行政)を結ぶ  
「地域社会全体のオーガナイザー」

**社会教育士**：それぞれの専門分野において、  
社会教育的な手法を用いて活動を展開する  
「専門性を様々な場に生かす学びのオーガナイザー」

第12期生涯学習審議会社会教育人材部会「中間的まとめ」(2023年8月)

## 7. 学びのオーガナイザーの視点

**相手への想像力と配慮**

**「慮る力」と「対話」によって  
新しい価値をつくりだす力**

## 8. 〈社会〉をつくる

〈社会〉を取り上げる場合  
意外と見落とされがちなのが  
「ひと」

〈社会〉とは「ひと」

「ひと」とは？

**社会教育は社会の地下水脈**

**社会教育再分枝論**

**社会教育が「公民」＝「社会我」を育てる  
学校や家庭はその一端を担うことができるのみ**

**社会教育は、人間関係を耕しておく営み**

## 9. PDCAからAARへ

## A: Anticipation

## R: Reflection

Anticipation : 予期する・予測する  
⇒何か「楽しいこと・嬉しいこと」  
を考えてウキウキする

Action : やってみる

Reflection : 振り返る  
⇒評価しない  
振り返って、さらにAnticipation  
どんどん多様になる

## A: Action

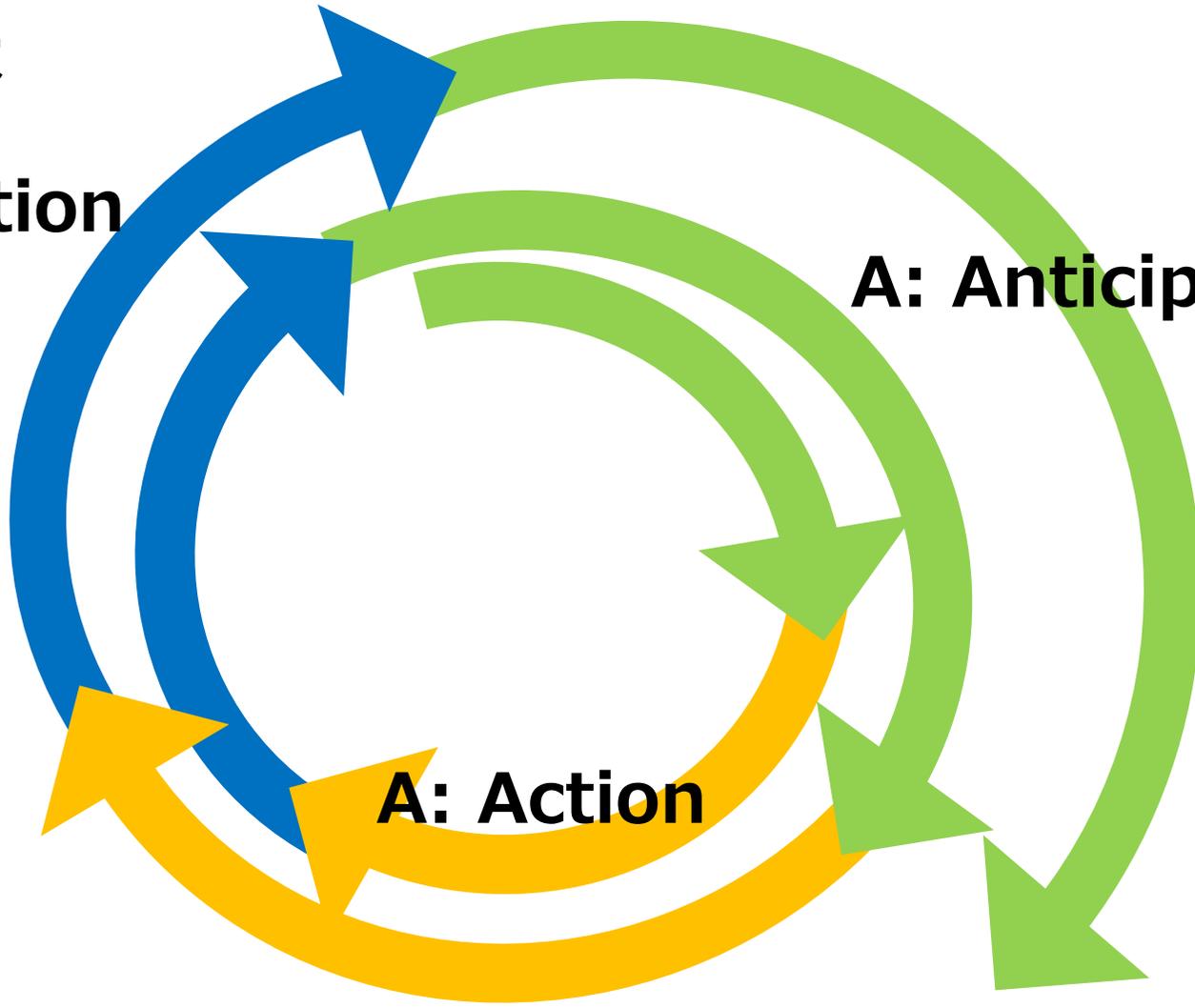
参考 : OECD Learning compass 2030  
[https://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning-learning-compass-2030/in\\_brief\\_Learning\\_Compass.pdf](https://www.oecd.org/education/2030-project/teaching-and-learning/learning-learning-compass-2030/in_brief_Learning_Compass.pdf)

実際は

R: Reflection

A: Anticipation

A: Action



## 10. FOR ALLの上にBY ALLへ

**「学び」 = 「よきこと」に気づき、実践する  
⇒社会に「共通善」を実践する営み**

**「学び」を「公共財」として実装する事業**

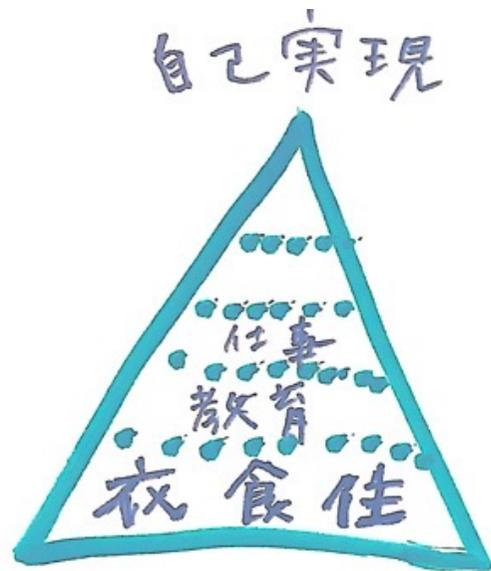
**全員が当事者になる**

**自分を尊重してもらえ  
相手を尊重している**

**信頼感と想像力**

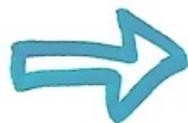
## 11. 「はまる」と、「育つ」

**強い個人の「自立」ではなく、  
みんなとの「かかわり」の中に  
「はまる」と動くし、「育つ」**



マズローの法則

**Maslow's Law**



ジグソーモデル

**Jigsaw-puzzle model**

上田假奈代氏提供資料

## 12. 「ふるさと」をつくる：AAR代謝へ

**「ひと」との「あいだ」が自分の居場所になる**

**「ひと」が「ふるさと」となる**

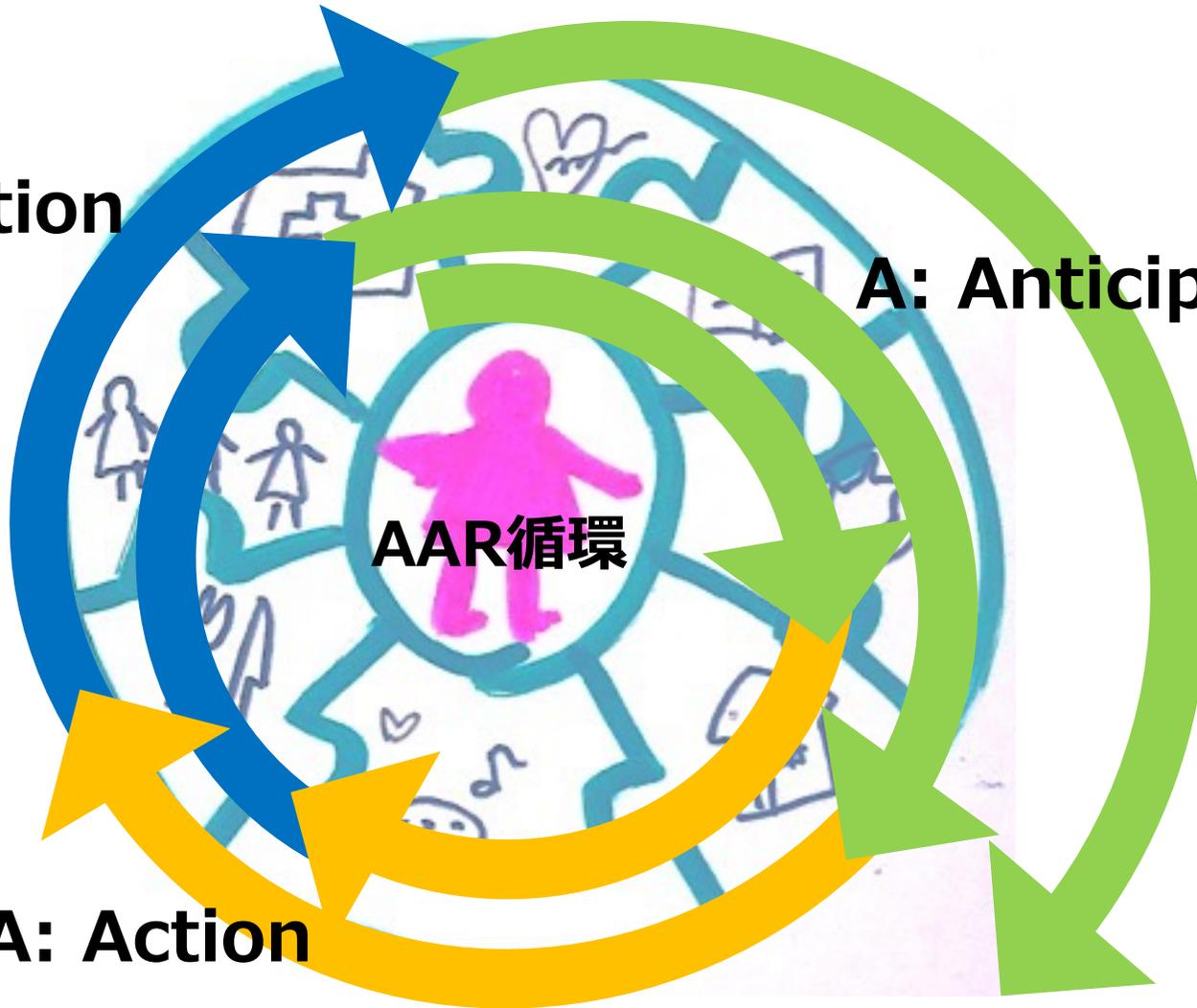
**「ふるさと」とは自分に「誇り」を持てること**

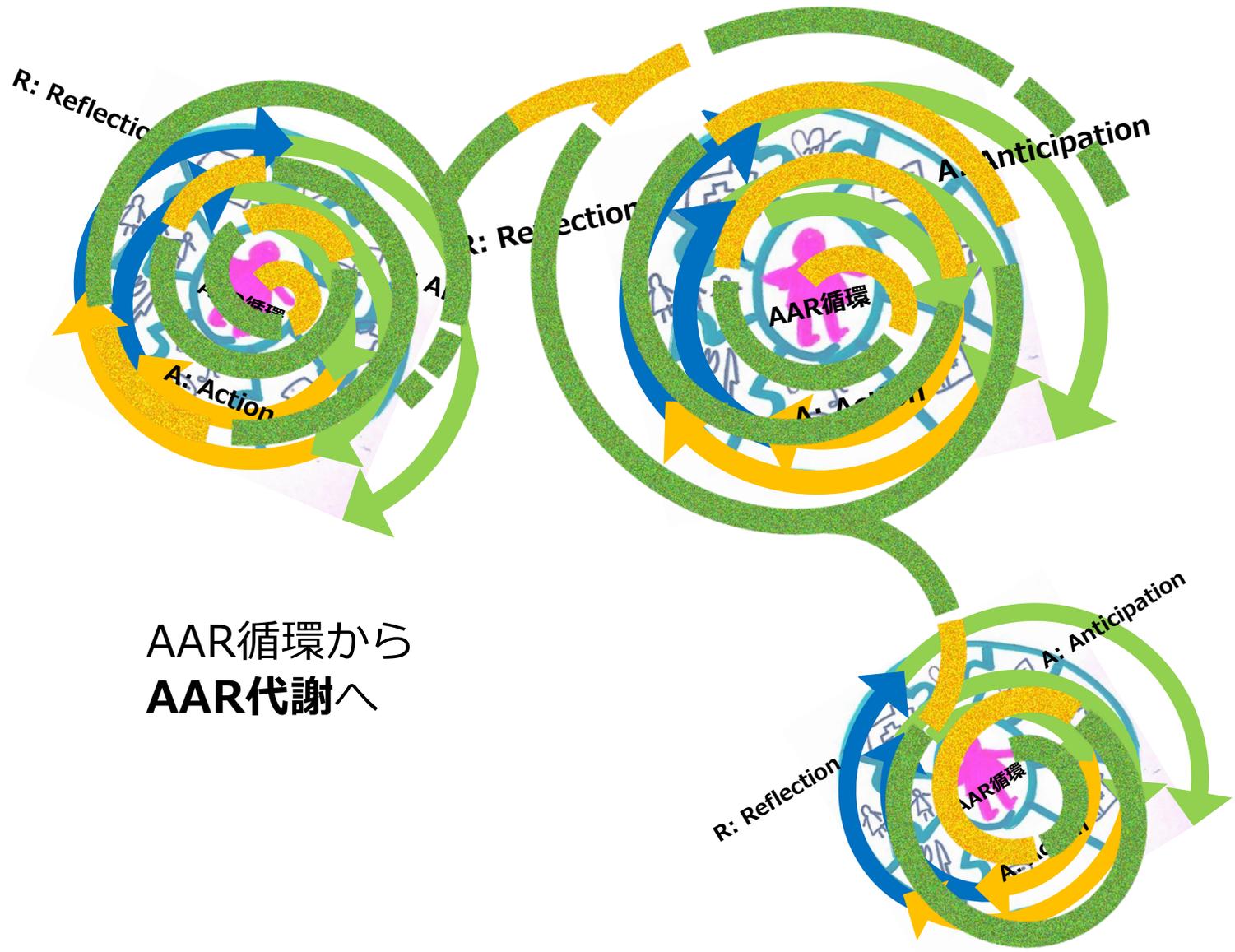
**R: Reflection**

**A: Anticipation**

**AAR循環**

**A: Action**





AAR循環から  
AAR代謝へ

**「草の根」から人間関係を耕して、社会基盤を整える**

**緩やかな「共感共同体」を多様に・多重につくる**

**⇒ 〈ちいさなしあわせを重ねる社会〉をふるさとに**

## 13. Be-ingであることでDo-erになる

**人生100年時代: おとなも子どもも学び続ける社会へ**

⇒ 「よきこと」に気づき、実践する  
「かかわりあい」が公共財となる社会へ

**「ふるさと」とは「ひと」 : おとなが子どもにかかわることで  
子どもはおとなを「ふるさと」にする  
おとなが「ふるさと」になった故郷  
= 本当の「ふるさと」**

**「つながり」をつくる？**

**「つながりたい存在」？**

**「つながらざるを得ない状況におかれている」？**

**「つながってしまっている」ことを分断してきたのでは？**

**本来的に「つながってしまっている」ことを  
どうWell-beingにつなげるのか？**

**本来的にCompassionであるはず**

**ちいさなしあわせを重ねあう**

**Be-ing** であることで **Do-er** になる

## **14. 自治を耕す社会教育**

長野県竜丘村（現・長野県飯田市竜丘地区）の公民館報はその第1号でつぎのように述べている。

**「公民館には特定の役者も演出家も用意されていない。舞台装置も演出家も何もかも一切合財皆がやるのだ。そして観客は一人も居ないのである。そういうのが公民館であろう。面白い芝居を観ようとするのではなく、よい芝居を演じようとするのである。そして一人ひとりが皆揃って千両役者や偉大な演出家になろうとするのである。公民館には観客は一人も居ないのである。」**

橋本玄進「みんなの公民館」『竜丘村公民館』第1号、1948年3月1日

**誰もが主役、誰もが担い手**

**⇒自治を耕し、自治を担う  
＝リーダーフルな地域社会へ**

**人生100年時代を生きぬく  
「学び続ける実践」を**